

## 学区の概要

浜名湖に囲まれた庄内半島の南端に位置する村櫛町が学区である。村櫛町は、昭和40年に浜松市と合併、平成19年の政令市移行に伴い西区の所属となった。人口約3,000人、約1,000世帯で三世代同居が多い、古き良き伝統に育まれた地域の人々の温かなつながりが今も生きている地域である。

一町一小学校のため、学校を核として地域ぐるみで子供たちを大切に育てていこうとする熱意にあふれており、春の船でいく遠足、夏の海泳体験、69回目を迎える「算数教育研究発表会」なども、地域の絶大な協力によって支えられている。ボランティアとして学校の教育活動や環境整備に参加して下さる方が多く、大変恵まれた教育環境にある。

昭和48年の浜名湖大橋、平成16年のはまゆう大橋開通により、交通アクセスも充実してきた。「静岡国際園芸博覧会(浜名湖花博)」跡地が「浜名湖ガーデンパーク」として生まれ変わり、県内外からの観光客も訪れるようになるとともに、自然エネルギーの研究施設「OMソーラー」や「国際頭脳センター」なども作られ、豊かな自然と最先端の技術が調和をもって共存し、すこやかな子供が育つ環境に恵まれた地域である。